

「薬物対策重点強化プラン」の概要

組織犯罪対策要綱(平成16年10月)等

- 供給の遮断: 密輸・密売を敢行する薬物犯罪組織(暴力団、来日外国人犯罪組織等)の壊滅
- 需要の根絶: 末端乱用者の検挙の徹底
- 薬物乱用を拒絶する社会の形成: 薬物乱用防止教室等の薬物乱用防止広報啓発活動の推進



最近の薬物犯罪情勢

- 年間1万人を超える薬物乱用者の検挙
- 著名人ら覚醒剤乱用事件の相次ぐ検挙、覚醒剤乱用事犯における社会の中核層(30歳代以上)の構成割合の増加
- 若年者を中心とする大麻事犯の増加
→ **根強い薬物需要と薬物乱用のすそ野の広がり**の懸念
- いわゆる「運び屋」による航空機利用の小口携帯覚醒剤密輸事件の多発、仕出し国等の拡大、国内地方空港の利用
- 手口の巧妙化、ルートの多様化、背後には薬物犯罪組織等のネットワークのグローバル化
- 大麻の国内供給への傾斜
- インターネット上の薬物関連違法情報の横行
→ **薬物の安定供給**の懸念



政府(薬物乱用対策推進会議)の取組み

- **第三次薬物乱用防止五か年戦略(平成20年8月)**
 - 目標1 青少年対策及び薬物規範意識の向上
 - 目標2 再乱用防止の推進
 - 目標3 薬物密売組織の壊滅及び末端乱用者の取締りの徹底
 - 目標4 水際対策の徹底、国際的な連携・協力の推進
- **薬物乱用防止戦略加速化プラン(平成22年7月)**
 - ・ 薬物乱用防止教育・予防啓発の一層の充実・強化
 - ・ 再乱用防止対策の取組及び薬物依存離脱対策の強化
 - ・ 薬物事犯の取締りの徹底等
 - ・ 水際対策の徹底等

薬物対策重点強化プラン(平成22年11月)

最近の薬物犯罪情勢の変化や薬物問題に対する政府全体の取組み強化等に的確に対処するため、組織犯罪対策要綱等を補強するものとして、今後関係部門間の連携により特に目的意識を持って重点的に強化すべき施策を選定。

重点1 薬物乱用を拒絶する気運の醸成

- I 多様なネットワークを活用した薬物規範意識の醸成
- II 官・民連携による薬物乱用防止活動の推進強化

重点2 いわゆる「運び屋」方式等による薬物密輸事犯への対処

- I 組織の枠を超えた広範な実態解明・内偵捜査の推進
- II 県境・国境を越えた密輸関連情報の集約・分析・共有の推進
- III 「運び屋」方式等による密輸事犯の抑止

重点3 サイバー空間からの薬物密売事犯の根絶

- I 部門の枠を超えた薬物密売事犯及び助長行為等の取締りの強化
- II 官・民連携によるサイト管理者等に対する対策の強化

重点4 薬物再乱用防止に向けた取組みの強化



組織犯罪対策要綱及び強化プランに基づく施策を強力に推進